

小學地理問答

井出猪之助輯
大日本之部

卷二



290

790

Vol.2

文部省二等訓導
井出猪之助輯

小學地理問答卷之二
大日本之部
附地理全圖

大阪府下
文敬堂梓



小學地理問答卷之二

第三回

備後 井出猪之助輯

○大日本帝國も、緯線何度よりあるや、△赤道乃
北、三十一度より四十五六度の間にある、○経
線も、何處を、零度とあるや、△東京の帝城を、零
度とするをり、○二萬四千七百七十七里あり
○全國の地形も、如何あるや、△其形蜻蜒の斜
よ飛ぶが如し、○全國乃長さを、幾里ありや、△

大凡五百里、○幅も幾里なりや、△三十里、或は
六千里よりして、齊十からは、○其面積も、大約幾
里なりや、△大約二萬四千七百八十里なり、
○全國を幾個に分つや、△畿内八道に分てり、
○其名も、何と云ふや、△東海道、畿内、東山道、北
陸道、山陰道、山陽道、南海道、西海道、北海道、

第二回

○東海道も、畿内なりや、△十五個國あり、○其

名も、何と云ふや、△武藏、安房、上総、下総、常陸、相
模、甲斐、伊豆、駿河、遠江、三河、尾張、志摩、伊勢、伊賀
○畿内も、畿内なりや、△五個國あり、○其名も、
何と云ふや、△山城、大和、河内、和泉、攝津、

○東山道も、畿内なりや、△十三個國あり、○其
名も、何と云ふや、△近江、美濃、飛騨、信濃、上野、下
野、岩代、盤城、陸前、陸中、陸奥、羽前、羽後、

○北陸道も、畿内なりや、△七個國あり、○其名

何と云ふや△若狹越前加賀越中越後
佐渡丹波越前備前備中備後伊豫土佐

○山陰道を幾國なりや△八個國之○其名を
何と云ふや△丹波丹後但馬因幡伯耆出雲石
見隱岐美作△山陰道大味河内中務備前

○山陽道を幾國なりや△八個國なり○其名
を何と云ふや△播磨美作備前備中備後安藝
周防長門美濃△山陽道美濃美作備前備中備後

○南海道を幾國なりや△六個國なり○其名
を何と云ふや△紀伊淡路阿波讃岐伊豫土佐
○西海道を幾國なりや△九個國と二島あり
○其名を何と云ふや△筑前筑後豊前豊後肥
前肥後日向大隅薩摩○二島の名を何と云ふ
や△壹岐對馬出雲△山陰道大味河内中務備前
○北海道を何國なりや△十一個國なり○其
名を何と云ふや△渡島後志石狩天塩北見膽

振、日高十勝、釧路、根室、千島、
○畿内八道、
○畿州、
○畿府、
○其名、
○何と云ふ也、
△東京府、
○京都府、
○大坂府、
○縣、
○畿、
○何と云ふ也、
△六十縣、
○其名、
○何と云ふ也、
△
神奈川縣、
兵庫縣、
長崎縣、
新潟縣、
埼玉縣、
熊谷縣、
足柄縣、
千葉縣、
新治縣、
茨城縣、
枋木縣、
奈良縣、
堺

縣、
三重縣、
度會縣、
愛知縣、
濱松縣、
静岡縣、
山梨縣、
滋賀縣、
岐阜縣、
筑摩縣、
長野縣、
宮城縣、
福島縣、
磐前縣、
若松縣、
水澤縣、
岩手縣、
青森縣、
山形縣、
置賜縣、
酒田縣、
秋田縣、
敦賀縣、
石川縣、
新川縣、
相川縣、
豐岡縣、
鳥取縣、
嶋根縣、
濱田縣、
飾磨縣、
其條縣、
岡山縣、
小田縣、
廣鳴縣、
山口縣、
和歌山縣、
名東縣、
愛媛縣、
高知縣、
福岡縣、
三猪縣、
小倉縣、
大分縣、
佐賀縣、
白川縣、
宮崎縣、
鹿兒島縣、

○武藏の北は何と云ふ、國々ありふ也、△上野、○東は何と云ふ、國々ありふ也、△下総、○東南は、何と云ふ也、△品川湾、○武藏は何と云ふ、湾は有也、△品川湾、○武藏北南は何と云ふ、國々有也、△相模、○西はありふ三國也、何と云ふ也、△甲斐、信濃、○武藏は何と云ふ、二港は在也、△横濱、品川、○何を繁榮する也、△横濱、○何を云ふ川然らる也、△利根川、中川、荒川、玉川、○荒川の川

床を何と云ふ也、△隅田川、○玉川の下流を何と云ふ也、△六郷川、○武藏は何と云ふ、山はありふ也、△秩父山、○安房の北は何と云ふ、國々ありふ也、△上総、○東南西は何と云ふ也、△海、○何と云ふ岬はありふ也、△野島崎、○上総の北は何と云ふ、國々ありふ也、△下総、○東は、何と云ふ也、△太平洋、○南はありふ國也、何

と云ふや、△安房、○西に、何よりあるや、△海、○何
と云ふ、二岬が何なるや、△大東崎、富津、○西邊より岬
なる岬も、何と云ふや、△富津、○東邊より岬
なる何と云ふや、△大東崎、○四つ、○何と云ふ
○下総の北より何と云ふ、國が何なるや、△常陸、○
東に、何よりあるや、△海、○南より何と云ふ、國が何
なるや、△上総、○西より何と云ふ、國が何なるや、△武
藏、○西北より何と云ふ、二つの國が何なるや、△上

野、下野、○下総、○何と云ふ、川が何なるや、△利根
川、○利根川も、又何と云ふや、△坂東太郎、○其
川口を、何と云ふや、△鈍子口、○大吹岬も、何處
よりあるや、△鈍子口、比角よりある、○下総よりある
大なる沼も、何と云ふや、△印幡沼、口印幡沼も
大きな抵、南北七里、東西一里餘、○何と云ふ、
○常陸、北北より何と云ふ、國が何なるや、△盤城、○
東に、何よりあるや、△鹿島洋、○南より何と云ふ、國

地理問答卷之二
六
がらりや、△下総○西よ何と云ふ、國がらりや、
△下野○常陸と下総の界よ何と云ふ、川がら
りや、△利根川○下野よて流を来りて、東鹿島
洋よ入る川を、何と云ふや、△那珂○盤城より
流を来りて、東鹿島洋よ入る川を、何と云ふや、
△久慈川○常陸よらる湖を、何と云ふや、△霞
浦、□霞浦を、日本第二の大湖ふり、○常陸よ何
と云ふ山がらる也、△筑波山、

○相模の北よ何と云ふ、國がらるや、△武藏○
東南を何よふもや、△海○西よ何と云ふ二國
がらりや、△駿河、甲斐○南よ何と云ふ、國がら
るや、△伊豆○相模の東濱よらる二つ港を、何
と云ふや、△浦賀、横須賀○何をか、南よあるや
△浦賀○東南隅よ何と云ふ、岬がらりや、△三
浦○相模よ何と云ふ、二つ河も、何と云ふや、△馬入
川、酒匂川○甲斐よて流を来りて、相模灘よ流

北野陸名考卷之二
是入る川を、何と云ふ也、△馬入川、○足柄山よ
り流を出る、相模灘に流を入る川を、何と云ふ
也、△酒匂川、○相模に河系二つ山を、何と云ふ
也、△足柄山、箱根山、○何を乃山嶺に湖水を、何
と云ふ也、△箱根山、時勢の東流しに二の流あり
○伊豆の北に何と云ふ、二國にあり也、△駿河、
相模、○東南西を、何と云ふ也、△海、○伊豆に有
る港を、何と云ふ也、△下田、○中央にあり山を

何と云ふ也、△天城山、○天城山より流を出て
る川を、何と云ふ也、△狩野川、○狩野川を、何を
向きて流る、也、△北に向けて流る、あり、○
東南の海中に幾個の島あり也、△七島、○其名
を何と云ふ也、△大島、三宅嶋、利島、新島、神嶋、御
藏嶋、藺灘波島、○何を最も大なる也、△大島
次に三宅嶋、○七島乃南に多つる島を、何
と云ふ也、△八丈嶋、○八丈島にあり也、△

○甲斐の北は河内二つ乃國を何と云ふ也、△武藏、信濃、○何を東は河内也、△武藏、○甲斐の東は河内と云ふ國がある也、△武藏、相模、○南は河内と云ふ國がある也、△駿河、○西は河内と云ふ國がある也、△信濃、駿河、○東北は河内と云ふ山がある也、△天目山、○北は河内と云ふ山がある也、△八ヶ岳、○西は河内と云ふ山がある也、△地藏山、○西南は河内と云ふ山がある

也、△身延山、○駿河の北界は河内國を何と云ふ也、△甲斐、○東界は河内國を何と云ふ也、△相模、伊豆、○南界は河内國を何と云ふ也、△駿河灣、○西北界は河内國を何と云ふ也、△遠江、○駿河は河内國を何と云ふ也、△富士山、○富士山は、我國第一乃高山なり、○富士山の高さ、幾許なり也、△高き直立一千四百十七丈あり、○駿河と遠江の界は

河を、何と云ふ也、△大井川、○大井川乃東
 上河を、何と云ふ也、△安部川、○清水港上
 流を、入る川を、何と云ふ也、△江尻川、○江尻
 川の東上河を、何と云ふ也、△沖津川、○沖
 津川乃東上河を、何と云ふ也、△富士川、○
 伊豆より流を、来る川を、何と云ふ也、△狩野川、
 ○東北より流を、来る川を、何と云ふ也、△
 喜瀬川、○駿河上河を、何と云ふ、港が有也、△清水港

○遠江乃北界上何と云ふ、國が河なり也、△信濃、
 ○東の界上何と云ふ、國がある也、△駿河、○西
 の界を、何と云ふ國あり也、△三河、○南を、何と
 云ふ也、△遠江難、○遠江上何と云ふ、岬が河を
 也、△御前岬、○大井川を、何と云ふ、二國の間を
 流る、也、△遠江、駿河乃間を流る、あり、○信
 濃より流を、来りて、遠江難上流を、入る川を、何
 と云ふ也、△天龍川、○遠江難上流を、入る川を、何

地理備考卷之二
○三河内北界を、何と云ふ、國あるや、△信濃、美濃、○東の界を、何と云ふ、國あるや、△遠江、○西の界を、何と云ふ、國あるや、△尾張、○南を、何と云ふや、△海、○三河は河を、三つ北大なる川を、何と云ふや、△豊川、矢矧川、大屋川、
○尾張の北界は河を、何と云ふや、△美濃、○東の界は河を、何と云ふ、國を、何と云ふや、△三河、○西の界は河を、何と云ふ、國を、何と云ふや、△伊勢、美濃、○南

を、何と云ふや、△海、○尾張は河を、何と云ふ、川を、何と云ふや、△木曾川、
○志摩の西界を、何と云ふ、國ありや、△伊勢、○南東北の三邊を、何と云ふや、△海、○志摩は河を、何と云ふ、港を、何と云ふや、△鳥羽、○志摩は河を、何と云ふ、岬を、何と云ふや、△大王岬、
○伊勢の北界を、何と云ふ、二國ありや、△美濃、尾張、○東界を、何と云ふや、△伊勢の海と、志摩

○南に、あまふも、△紀州灘、○西界に、ふもと
云ふ、國ふり也、△大和、伊賀、近江、○南西の界に
何と云ふ、國がある也、△紀伊、

○伊賀乃北界に、何と云ふ、國ふり也、△近江、○
東界に、何と云ふ、國がある也、△伊勢、○南界に
ふると云ふ、二國がある也、△伊勢、大和、○西界
に、何と云ふ、二國がある也、△大和、山城、

第五回、△、○、

○山城乃北界に、何と云ふ、國がある也、△丹波、
○東の界に、何と云ふ、國ふり也、△近江、○南界
に、何と云ふ、國ある也、△大和、伊賀、○西界に、何
と云ふ、三國がある也、△河内、攝津、丹波、○近江
乃琵琶湖より流れて出て、山城に入る川を、何と
云ふ、△宇治川、○鴨川は合せる川を、何と云ふ
や、△大堰川、
○大和の北界に、何と云ふ、國がある也、△山城、

○東界はあまといふ、三國がらるや、△伊賀、伊勢、紀伊、○南方はあにといふ、國があるや、△紀伊、○西界も、何と云ふ、二國ありや、△河内、紀伊、伊賀より流る来り、大和を通す、河内は入る川も、何と云ふや、△大和川、○北界も、何と云ふ、河内の北界も、何と云ふ、國ありや、△攝津、山城、○東界も、何と云ふ、國ありや、△大和、○南方は何と云ふ、國がらるや、△紀伊、○西界は何と云ふ、

云ふ、二國がらるや、△和泉、攝津、○河内は何と云ふ、川がらるや、△大和川、△大和川、○東界も、何と云ふ、國ありや、△攝津、○西界も、何と云ふ、國ありや、△河内、○南界も、何と云ふ、國ありや、△紀伊、○北界も、何と云ふ、國ありや、△攝津、△和泉、乃間より、○大和川も、何處より、△攝津と、○攝津の北界も、何と云ふ、國ありや、△丹波、○

東に何と云ふ、二國が所なり也、△河内、山城、○南
 方に、何と云ふ、國あり也、△和泉、攝津灣、○西界
 を、何と云ふ、國なり也、△播磨、○攝津に所なり三
 つ乃港を、何と云ふや、△大阪港、神戸港、兵庫港、
 ○何をが繁榮を為す也、△大阪港、○攝津に何と
 云ふ、岬が所なり也、△和田岬、○攝津と和泉の界
 を流る、川を、何と云ふ也、△大和川、○淀川の
 川下を、何と云ふ也、△安治川、○西の所なり

○東朝第六回、所なり也、△西の所なり、○
 ○近江の北界を、何と云ふ、國あり也、△越前、○
 近江の東界を、何と云ふ、二國なり也、△美濃、伊
 勢、○南界を、何と云ふ、國あり也、△伊賀、○西界
 を、何と云ふ、三國あり也、△山城、丹波、若狹、○
 近江に所なり湖を、何と云ふ也、△琵琶湖、○琵琶
 湖を、我國第一乃大なる湖なり、○近江に何と
 云ふ、山が所なり也、△比叡山、○西の所なり、△比叡

○美濃の北に何と云ふ、二國が在る也、△越前、
飛騨、○東界に何と云ふ、國がある也、△信濃、○
南界に何と云ふ、國がある也、△尾張、三河、伊勢、○
西界に何と云ふ、二國が在る也、△近江、越前、○
信濃より流を来りて、美濃に入る川を、何と云
ふ也、△木曾川、○木曾川に、何處、流を入る也、△
木曾川に、尾張を通りて、海に流を入る所を、○
○飛騨の北界に、何と云ふ、國がある也、△越中、○

東界に何と云ふ、國が在る也、△信濃、○南界に、
何と云ふ、國がある也、△美濃、○西界に何と云ふ、
三國が在る也、△加賀、越前、美濃、△北界、○西界、
○信濃の北界に、何と云ふ、國が在る也、△越後、
○東界に何と云ふ、三國がある也、△甲斐、武蔵、
上野、○南界に、何と云ふ、三國が在る也、△三河、
遠江、駿河、○西界に、何と云ふ、三國がある也、△
越中、飛騨、美濃、○信濃に何と云ふ、湖が在る也、

△諏訪湖 ○天竜川の源也、何をより流れ出つ
る也、△諏訪湖 ○信濃より越後へ流る入る川
也、何と云ふや、△千隈川 ○信濃より越後へ流る
○上野の北界は何と云ふ、二國が所する也、△越
後、岩代 ○東界は何と云ふ、國が所する也、△下野
○南界は何と云ふ、國が所する也、△武藏 ○西界
は何と云ふ、國が所する也、△信濃 ○下野
○下野乃北界は何と云ふ、二國が所する也、△岩

代、盤城 ○東界は何と云ふ、國が所する也、△常陸
○南界は何と云ふ、國が所する也、△下総 ○西界
は何と云ふ、國が所する也、△上野 ○下野は何と
云ふ、何と云ふや、△日光山 ○殺生石は、何處に
ある也、△那須原 ○河内、河内、河内、河内、河内、
○岩代の北界は何と云ふ、國が所する也、△羽前
○東界は何と云ふ、國が所する也、△盤城 ○南界
は何と云ふ、國が所する也、△上野、下野 ○西界は

何と云ふ、國が何と云ふや、△越後、○岩代、何と云
ふ、湖が何と云ふや、△猪苗代湖、○猪苗代湖より流
出する川を、何と云ふや、△會津川、○岩代より流
出する川を、何と云ふや、△阿武隈川、
○盤城の北界を、何と云ふ、國が何と云ふや、△陸前、
○東界を、何と云ふや、△海、○南界を、何と云ふ、
二國が何と云ふや、△常陸、下野、○西界を、何と云ふ、
國が何と云ふや、△岩代、○盤城より何と云ふ、港が何

と云ふ、△平海、○盤城と岩代乃間より流る川を、何
と云ふや、△阿武隈川、
○陸前の北界を、何と云ふ、△陸
中、○南界を、何と云ふ、二國が何と云ふや、△盤城、岩
代、○西界を、何と云ふ、國が何と云ふや、△羽前、○東
を、何と云ふや、△海、○陸前より何と云ふ、灣が何
と云ふや、△松島、○何と云ふ、港が何と云ふや、△石巻、○
陸中より流れて来る川を、何と云ふや、△北上川、

也、△岩城山、○陸奥よりある岬も、何と云ふや、△
深浦、○陸奥よりある港も、何と云ふや、△
三厩、○陸奥にある四つ岬も、何と云ふや、△深
浦、鳥井岬、尻矢崎、飛竜岬、○西よりある二つの岬
も、何と云ふや、△深浦、鳥井岬、○東半島よりある
岬も、何と云ふや、△尻矢崎、
○羽前の北界は、何と云ふ國があるや、△羽後、
○東界は、何と云ふ、二つ乃國があるや、△陸前、

盤城、○南界は、何と云ふ國があるや、△岩代、越
後、○西界を、なする多や、△海と、越後、○羽前よ
りある港も、何と云ふや、△八郎浮、○羽前よりある
川も、何と云ふや、△最上川、○其川下を、何と云
ふや、△阪田川、
○羽後の北界は、何と云ふ國があるや、△陸奥、
○東界を、何と云ふ國があるや、△陸中、○南界を、
何と云ふ國があるや、△羽前、○西界を、なする

也△海○羽後よりる港を何と云ふや△八郎
浮○羽後よりる二つ乃山を何と云ふや△鳥
海山駒ヶ嶺○羽後よりる二つ此川を何と云
ふや△酒田川新川○羽後と羽前の間よりる
川を何と云ふや△酒田川○其川下を河と云
ふ
第七回
○若狭の北を、あまらるるや、△海、○東界は、何と
云ふ二つ乃國を、何と云ふや、△近江、越前、○南界は

何と云ふ國を、何と云ふや、△丹波、○西界は、何と云
ふ、國を、何と云ふや、△丹後、
○越前の北界は、何と云ふ、國を、何と云ふや、△加賀、
○東界は、何と云ふ、二つ乃國を、何と云ふや、△飛騨、
美濃、○南界は、何と云ふ、二國を、何と云ふや、△近江、
美濃、○西界を、何と云ふ、國を、何と云ふや、△若狭、○越
前は、何と云ふ、港を、何と云ふや、△敦賀、○西界は、
○加賀の北界は、何と云ふ、國を、何と云ふや、△能登、

○東界は何と云ふ國が有也、△飛彈、越中、○南
 界は、何と云ふ國があるや、△越前、○西界を、何
 ちや、△海、○能登の北を、何ありや、△能登海、○東西の界
 も、何ありや、△海、○南界は、何と云ふ國が、
 や、△越中、加賀、○能登より、何と云ふ港を、何と云ふや
 △七尾港、○何と云ふ岬が、何と云ふや、△珠洲の岬、
 ○越中の北界を、何ありや、△海、○東界は、何と

云ふ、二つ乃國が、何と云ふや、△信濃、越後、○南界は
 何と云ふ國が、何と云ふや、△飛彈、○西界は、何と云
 ぶ國が、何と云ふや、△加賀、能登、○越中より、何と云ふ
 山を、何と云ふや、△立山、○越後の北界を、何と云ふや、△海、○東界は、何
 と云ふ、二國が、何と云ふや、△岩代、羽前、○南界は、何
 と云ふ、二流の國が、何と云ふや、△信濃、上野、○西界
 は、何と云ふ國が、何と云ふや、△越中、○越後より、三

此乃川を何と云ふや、△関川、信濃川、阿賀川、○
越後よりなる港を何と云ふや、△新泻、○信濃川
此口より何と云ふ港がらるや、△新泻、○越後の
北海中より何と云ふ島があるや、△佐渡、○
○佐渡より何と云ふ港がらるや、△夷の港、○佐
渡より北よりなる海を何と云ふや、△日本海、
第七回
○丹波の北より界より何と云ふ、二所の國がらる

や、△丹後、若狹、○東界よりなる國を何と云ふや、
△近江、○南界よりなる二所乃國を何と云ふや、
△山城、攝津、○西界より何と云ふ、二つ此國がら
るや、△播磨、祖馬、○丹波よりなる山を何と云ふ
や、△笹山、
○丹後乃北界を、あより今もや、△海、○東界より何
と云ふ國がらるや、△若狹、○南界より何と云ふ
國がらるや、△丹波、○西界より何と云ふ國がら

月や△但馬○丹波より流を来る川を何と云
 ふや△大川○天乃橋立を何と云の國よりや
 △丹後△北界より△丹波△東界より
 ○但馬の北を何と云ふや△海○但馬の東界より
 何と云ふ二所乃國がらるや△丹波丹後○南
 界より何と云ふ國がらるや△播磨○西界より何
 と云ふ國がらるや△因幡○但馬よりる小港
 を何と云ふや△丹土港○何と云ふ川がらる

也△豊岡川○何と云ふ小岬がらるや△経岬
 ○因幡の北界を何と云ふや△海○東界より何
 と云ふ國がらるや△但馬○南界より何と云ふ
 國がらるや△義作○東南の界より何と云ふ國
 がらるや△播磨○西界より何と云ふ國がらる
 や△伯耆○因幡よりる川を何と云ふや△千
 代川○何と云ふ美野郡中流を何と云ふ國がらる
 ○伯耆の北を何と云ふ川を何と云ふや△海○東界より何と

云ふ國の形もや、△因幡○南界の何と云ふ、三
國がらるや、△美作、備中、備後、○西界の何と云
ふ、國の形もや、△出雲、○伯耆の何と云ふ、港を、何と
云ふや、△名和港、○伯耆の何と云ふ、岬の何と
云ふや、△大岬、○伯耆の何と云ふ、川の何と云ふや、△橋
津川、△國の何と云ふ、△岬、○南界の何と云ふ、
○出雲の北を、何と云ふや、△海、○東界の何と云
ふ、國の何と云ふや、△伯耆、○南界の何と云ふ、國がら
る

△備後、○西界の何と云ふ、國の何と云ふや、△
石見、○出雲の何と云ふ、岬がらるや、△日御崎、
○出雲の灣中、何と云ふ、島がらるや、△大根
島、○出雲の何と云ふ、湖水がらるや、△松江
湖、△國の何と云ふ、△大根島、△日御崎、
○石見の北を、何と云ふや、△海、○東界の何と云
ふ、二國がらるや、△出雲、備後、○南界の何と云
ふ、二國がらるや、△安藝、周防、○西界の何と云

不國が何々や、△長門、○石見、何と云ふ川が
 何々や、△高角川、○何と云ふ港が有や、△尸田
 ○出雲の北海中、何と云ふ島が有や、△隠岐
 ○隠岐乃群島と、大なる鳴幾個ありや、△三個
 ○出第八回、何と云ふ島が有や、△三箇
 ○播磨の北界、何と云ふ、二片乃國が何々や、
 △丹波、但馬、○東界、何と云ふ、國が何々や、△
 攝津、○西界、何と云ふ、三國が何々や、△備前、

美作、因幡、○南界、何と云ふや、△播磨灘、○播磨
 と淡路の間、乃海峡を、何と云ふや、△岩屋峽、○
 播磨、何と云ふ港を、何と云ふや、△室津、○播磨の
 海に有、三島を、何と云ふや、△家嶋、淡加島、西島、
 ○美作の北界、何と云ふ、二片の國が何々や、
 △因幡、伯耆、○東界、何と云ふ、國が何々や、△播
 磨、○南界、何と云ふ、國が何々や、△備前、○西
 界、何と云ふ、二片の國が有や、△伯耆、備中、○

○備前の北界、何と云ふ、國が有や、△美作。○
東界、何と云ふ、國が有や、△播磨。○南も、何と
云ふや、△海。○西界、何と云ふ、國が有るや、△
備前。○備前、何と云ふ、川が有るや、△朝比川。
○備中の北界、何と云ふ、國が有るや、△伯耆。
○東界、何と云ふ、二河乃國が有るや、△備前。
美作、○南も、何と云ふ、△海。○西界、何と云
ふ、國が有るや、△備後。○備後、何と云ふ、國が有るや、
○備前の北界、何と云ふ、國が有るや、△美作。
○東界、何と云ふ、國が有るや、△播磨。○南も、何と
云ふ、△海。○西界、何と云ふ、國が有るや、△備前。

○備後の北界、何と云ふ、二河乃國が有るや、
△伯耆。出雲。○東界、何と云ふ、國が有るや、△
備前。○南も、何と云ふ、△海。○西界、何と云
ふ、二國が有るや、△安藝、石見。○備後、何と云ふ、港
を、何と云ふ、△鞆。○備前の北界、何と云ふ、國が有る
や、△安藝の北界、何と云ふ、二つ此國が有るや、
△石見、備後。○東界も、何と云ふ、國が有るや、△備
後。○南も、何と云ふ、△海。○西界、何と云ふ、

北里月本卷之三
三六

二つ國が何々や、△周防、石見、○安藝は何と云ふ、島が何々や、△嚴島、
○周防の北界は、何と云ふ、三つ乃國が何々や、△安藝、石見、長門、○東は、何々や、△海、○南は、何々や、△周防、洋、○西界は、何と云ふ、國が何々や、△長門、○周防の東海中は、何と云ふ、島が何々や、△八代嶋、
○長門の北南西は、何と云ふや、△海、○東界は

何と云ふ、二つ國が何々や、△石見、周防、○長門は、何と云ふ、港が何々や、△下ノ関、○長門と豊前の間は、何と云ふ、海峡を、何と云ふや、△赤間関、
第九回、○紀伊の北界は、何と云ふ、四つ乃國が何々や、△和泉、河内、大和、伊勢、○此四ヶ國のうち、何と云ふ、西は、何々や、△和泉、○何れが、東は、何々や、△

伊勢○紀伊の南を、何あるや、△紀州灘○紀伊
と阿波の間を、何と云ふ海峡が、何るや、△紀伊
乃峽○紀伊と淡路の間を、何と云ふ海峡が、何
るや、△苦島峽○紀伊より三つ乃川を、何と
云ふや、△紀川有田川音無川○大和よて流を
来る川を、何と云ふや、△音無川○紀伊より
二つ乃岬を、何と云ふや、△汐岬日岬○何を
南よりあるや、△汐岬○紀伊の南よりある島を、何

と云ふや、△大島○紀伊の北西よりある大島
鳴を、何と云ふや、△淡路島
○淡路の北より、何と云ふ海峡が、何るや、△岩屋
峽○東より、何と云ふ海峡が、何るや、△苦島峽○
南西より、何と云ふ海峡が、何るや、△鳴門峽○西
より、何と云ふ海が、何るや、△播磨灘○淡路より
る小港を、何と云ふや、△由良港○阿波より
○阿波の北界より、何と云ふ國が、何るや、△讃岐

○東南を何よあるや、△海、○西界を何と云ふ、
 二佐の國がらるや、△伊豫、土佐、○阿波よりる
 港を何と云や、△鞆港、○阿波よりる三岬を何
 と云ふや、△蒲田岬、室戸岬、△山門岬、○西
 ○讃岐の北を何よあるや、△海、○東界を何と
 云ふ、國がらるや、△阿波、○南界を何と云ふ、國
 がらるや、△土佐、○西よりる岬を何と云ふや、
 △箱岬、○讃岐よりる何と云ふ、小港がらるや、△多

度津、○讃岐よりる何と云ふ、嶋が有や、△小豆島
 ○伊豫の北を何と云ふ、にるや、△海、○東界を何と
 云ふ、國がらるや、△阿波、讃岐、○南界を何と云ふ
 國がらるや、△土佐、○西を何よあるや、△海、○伊
 豫よりる三つ乃岬を何と云ふや、△宮崎、由良
 岬、佐田岬、○何をの岬が北よりるや、△宮崎、○
 何を乃岬が南よりるや、△由良岬、○伊豫より
 る小港を何と云ふや、△三机港、

○土佐の西北乃界ト何ト云ふ國ガ行々也△
 伊豫○東北の界ト何ト云ふ國ガ行々也△阿
 波○土佐北南ト何ト云ふ也△海○土佐ト行
 々三つ岬ト何ト云ふ也△室戸岬是摺岬与津
 岬○何處ガ東ト行々也△室戸岬○何處ガ西
 ト行々也△由良岬○土佐ト何ト云ふ港トあ
 る也△高知港ト云ふ港トあり也△
 第十回同は云ふ也

○筑前の北乃界ト何ト云ふ也△玄海洋○東
 界ト何ト云ふ國ガ行々也△豊前○南界ト何
 ト云ふ也△筑後肥前○西界
 ト何ト云ふ國ガ行々也△肥前
 ○筑後の北界ト何ト云ふ國ガ行々也△筑前
 ○東界ト何ト云ふ國ガ行々也△豊後○南界
 ト何ト云ふ國ガ行々也△肥後○西界ト何ト
 云ふ國ガ行々也△肥前○筑後ト何ト云ふ川

がらや、△筑後川、○筑前、○筑後、○豊前、○豊後の東
 ① 豊前の北に、何よある也、△りみ、○豊前の東
 に、何よある也、△海、○南界に、何と云ふ國がら
 りや、△豊後、○西界に、何と云ふ國がらりや、△
 筑前、○豊前に、何と云ふ川がらりや、△高瀬川、
 ○豊後の北界に、何と云ふ國がらりや、△豊前、
 ○東に、何よある也、△海、○南界に、何と云ふ國
 がらりや、△日向、○西界に、何と云ふ、二流の國

がらりや、△筑後、肥後、○西北の界に、何と云ふ、
 國がらりや、△筑前、○豊後に、ある岬も、何と云
 ふや、△嵯峨関岬、○豊後と伊豫の間乃、峽も、何
 と云ふや、△豊後、峽も、何と云ふ國がらりや、△筑前
 ○肥前の北界に、何と云ふ、國がらりや、△筑前
 ○東界に、何と云ふ、國がらりや、△筑後、○南西
 にも、何よある也、△海、○肥前の東に、ある灣を、何と
 云ふや、△有明の沖、○肥前に、ある港も、何と云

ありや、△長崎港、○肥前の西よりある群島、何と云ふや、△五島、○南よりある島も、何と云ふや、△天草、○肥後の北界より何と云ふは、三所の國よりあるや、△筑後、豊後、○東界より何と云ふ、二つ乃國よりあるや、△豊後、日向、○南界より何と云ふは、三所、扶國よりあるや、△日向、薩摩、○西より何とあるや、△海、○肥後より何と云ふは、大なる山よりあるや、△阿蘇

山、○南西よりあるや、△肥前、○東界より何と云ふは、三所、乃國よりあるや、△日向、○南より何とあるや、△海、○西界より何と云ふは、三所、乃國よりあるや、△肥後、薩摩、大隅、○日向より何と云ふは、大なる山よりあるや、△霧嶋山、○日向よりあるは、云ふ岬よりあるや、△土肥、岬よりあるや、△大隅の北界より何と云ふは、二所の國よりあるや、

△日向薩摩○東界は何と云ふ國がらるや△
日向○南はあはるや△海○西界は何と云
ふ國がらるや△薩摩○大隅の南は何と云ふ
二島がらるや△種子嶋屋久島○大隅は何と
云ふ岬がらるや△佐田岬○薩摩の北界は何と云ふ國がらるや△肥後
○東界は何と云ふ二は乃國がらるや△日向
大隅○南西は何ふるや△うみ○薩摩の西は

何る嶋を何と云ふや△帆島○薩摩は何と云
ふ港がらるや△鹿兒島港○薩摩の東は何と
云ふ嶋がらるや△櫻嶋

○肥前の北は何る嶋を何と云ふや△壹岐
○壹岐の西北は何と云ふ島がらるや△對馬
○九州の南洋中は何る島を何と云ふや△琉
球諸島○東西南北は

○東西南北は

○渡島の北界は何と云ふ、二國がらるや、△膽
 振、後志、○東西南の三方も、何はあるや、○渡嶋
 何と云ふ港がらるや、△箱館、
 ○後志の北東の界は何と云ふ國がらるや、△
 石狩、○南界は何と云ふ國がらるや、△膽振、○
 西北を、あはるや、
 ○石狩の北界は何と云ふ國がらるや、△天塩、
 ○東界は何と云ふ、二片の國がらるや、△北見

十勝、○南界は何と云ふ、二片の國がらるや、△
 膽振、△高、○西界は何と云ふ國がらるや、△後
 志、○石狩は何と云ふ川がらるや、△石狩川、
 ○天塩の東北は何と云ふ國がらるや、△北見、
 ○南界は何と云ふ國がらるや、△石狩、○西を、
 何あるや、
 ○北見の北を、何はあるや、○東界は何と云ふ、
 國がらるや、△根室、○南界は何と云ふ、二片の

國がらるや、△釧路、十勝、○西界は何と云ふ、二
後持國がらるや、△石狩、天塩、○北見はらる港
は何と云ふや、△宗谷、

○膽振の北界は何と云ふ國がらるや、△石狩、
後志、○東界は何と云ふ國がらるや、△日高、○
南を、あはるらるや、○西界は何と云ふ國がらる
や、△渡島、○膽振は何と云ふ、濱がらるや、△モ
ロ、○南界は何と云ふ國がらるや、△

○日高の北界は何と云ふ國がらるや、△石狩、
○東界は何と云ふ國がらるや、△十勝、○南を
何と云ふや、○西界は何と云ふ國がらるや、△
膽振、○日高は何と云ふ、岬がらるや、△エリモ
岬、○西界は何と云ふ國がらるや、
○十勝の北界は何と云ふ、二は乃國がらるや、
△石狩、北見、○東界は何と云ふ國がらるや、△
釧路、○南を、何と云ふや、○西界は何と云ふ國

と云ふや、△自主、知床、真知床、○樺太と北見の
間の海峡を何と云ふや、△知主峽、
第十二回

○東京府を何と云ふ國に属すや、△武藏、○東
京府を何郡ふるや、△四郡荏原、豊島、足立之内
葛飾之内、○府廳を何處に属すや、△武藏之國
豊島郡幸橋内、
○京都府を何と云ふ國境内に属すや、△山城

丹波、○京都府を何郡ふるや、△十郡山城、乃
國を九割、葛野、愛宕、紀伊、宇治、久世、綴喜、相樂、丹
波之國を、船井、何處、素田、○府廳を何處に属す
や、△山城國葛野郡二條城、
○大阪府を何と云ふ國に属すや、△攝津、○大
阪府を何郡ふるや、△七郡、島上、島下、豊鴻、能勢、
西成、東成、住吉、○府廳を何處に属すや、△攝津
國西成郡江の子嶋、

神奈川縣何と云ふ二國乃内一有也、△武藏相摸、○神奈川縣何郡あるや△七郡相摸、乃國又三浦鎌倉高座武藏の國を攝樹、△良岐都筑多摩、○縣廳何處△武藏の國、久良岐郡橫濱、○武藏の國、○兵庫縣何と云ふ國一有也、△攝津、○兵庫縣何郡あるや△五郡、八郡、兔原、武庫、川邊

有馬、○縣廳何處△攝津之國、八郡、郡、兵庫津、○長崎縣何と云ふ國乃内一有也、△壹岐、對馬、肥前、○長崎縣何郡あるや△七郡、肥前、國を彼、拵、高來、松浦之内、壹岐國を壹岐、石田、對馬國を上縣、下縣、○縣廳何處△肥前國、彼、拵、郡、長崎、○新沔縣何と云ふ國一有也、△越後、○新

河縣も何郡ありや、△七郡蒲原之内、岩松、頸城、
 古老、魚沼、舟羽、三島、○縣廳も何處よりや、△
 越後の國蒲原郡新海、
 國第十四回、
 ○埼玉縣も何と云ふ國よりや、△武藏、○埼
 玉縣も何郡ありや、△三郡、埼玉、葛飾之内、足立
 の内、○縣廳も何處よりや、△武藏の國埼玉
 郡岩槻

○熊谷縣も何と云ふ國の内よりや、△武藏、
 上野、○熊谷縣も何郡ありや、△二十四郡、武藏
 の國入間、横見、秩父、男衾、大里、榛澤、賀美、幡羅、比
 企、新座、那賀、兒玉、高麗、上野の國も、利根、吾妻、勢
 多、碓氷、那波、甘樂、佐位、片岡、多湖、緑野、群馬、○縣
 廳も何處よりや、△武藏の國大里郡熊谷驛
 ○足柄縣も何と云ふ國の内よりや、△相模、
 伊豆、○足柄縣も何郡ありや、△十郡、相模の國

也、是柄上、是柄下、大住、愛甲、陶綾、津次井、伊豆の
國又、君澤、田方、那賀、賀茂、○縣廳在、何處、△常陸
也、△相模乃國、是柄下郡、小田原、大里、相原、石野
○千葉縣在、何處、△三國乃内、北河、河、△安
房、上總、下總、のり、高、上、河、河、○千葉縣在、何郡、小
○也、△三郡、安房の國又、平郡、安房、朝夷、長
狹、上總、乃國、是、市原、望陀、周唯、天羽、夷隅、長柄、山
邊、武射、植生、下總、乃國、是、結城、猿鳴、葛飾、相馬、岡

田、豊田、千葉、植生、印幡、○縣廳在、何處、△常陸
△下總國、千葉郡、千葉所、○縣廳在、何處、△常陸
○新治縣在、何と云ふ、二國の内、△常陸、
陸、下總、○新治縣在、何郡あるや、△九郡、常陸乃
國、新治、筑波、河内、行方、信太、鹿島、下總、乃國、
香取、匝瑳、海上、○縣廳在、何處、△常陸
國、新治郡、土浦、○縣廳在、何處、△常陸
○茨城縣在、何と云ふ、國、△常陸、○茨

錦部、石川、古市、安宿、大縣、高安、河内、讚良、茨田、交野、若江、淡川、志紀、丹北、丹南、八上、和泉の國を、大鳥、和泉、日根、泉南、○縣廳を、何處より、や、△和泉の國、大鳥郡、堺より、や、△大縣、高安、河内、讚良、茨田、交野、若江、淡川、志紀、丹北、丹南、八上、和泉の國を、賀、伊勢、○三重縣を、何郡あり、や、△十三郡、伊賀の國を、阿拜、山田、伊賀、名張、伊勢の國を、安濃、安藝、鈴鹿、河曲、三重、素名、真辨、朝明、○縣廳を、何處

地理開答卷之二

四

より、や、△伊勢國、三重郡、四日市、早、○度會縣を、何と云ふ、三國の内より、や、△志摩、伊勢、紀伊、○度會縣を、何郡あり、や、△八郡、志摩の國を、荅志、英虞、伊勢國を、多氣、度會、飯野、飯高、一志、紀伊の國を、牟婁のうも、○度會縣廳を、何處より、有、や、△伊勢の國、度會郡、山田より、や、○愛知縣を、何と云ふ、二國の内より、や、△尾張、三河、○愛知縣を、何郡あり、や、△十六郡、尾張

中

地理開答卷之二

四

乃國也、春日井、愛知、葉栗、海東、海西、丹羽、中島、知
 多、三河の國也、碧海、賀茂、額田、幡豆、寶飯、設樂、八
 名、渥美、○縣廳也、何處にありや、△尾張の國、愛
 知郡名、古屋、○國にありや、△遠江、○濱
 松縣也、何郡ありや、△十三郡、濱名、敷智、豊田、引
 佐、龜玉、長上、盤田、周智、山名、佐野、襟原、城東、○縣
 廳也、何處に有や、△遠江國、敷智郡、濱松にあり也、

○静岡縣也、何と云ふ、國にありや、△駿河、○靜
 岡縣也、何郡ありや、△七郡、志田、益頭、有度、安倍、
 盧原、富士、駿東、○縣廳也、何處にありや、△駿河
 國、安倍郡、静岡にあり也、
 ○山梨縣也、何と云ふ、國にありや、△甲斐、○山
 梨縣也、何郡ありや、△四郡、山梨、八代、巨摩、都留
 ○縣廳也、何處にありや、△甲斐の國、山梨郡、甲
 府にあり、十六回

○滋賀縣に何と云ふ國にありや△近江○滋
 賀縣に何郡あるや△十二郡滋賀、栗太、野洲、甲
 賀、蒲生、神寄、愛知、犬上、坂田、淺井、伊香、高島○縣
 廳を何處にありや△近江の國滋賀郡別府に
 あり
 ○岐阜縣に何と云ふ國にありや△美濃○岐
 阜縣に何郡あるや△二十一郡多藝、石津、不破

安八、池田、大野、本巢、帝田、厚見、谷務、山縣、武藝、郡
 上、賀茂、可兒、土岐、惠奈、方縣、海西、葉栗、中嶋○縣
 廳を何處にありや△美濃國厚見郡にあり
 ○筑摩縣に何と云ふ二國にありや△信濃、飛
 騨○筑摩縣に何郡あるや△七郡信濃の國に
 筑摩、伊那、諏訪、安曇、飛騨の國に、大野、吉城、益田
 ○縣廳を何處にありや△信濃の國筑摩郡松
 本にあり

○長野縣を何と云ふ國よりや△信濃○長野縣を何郡ありや△六郡埴科高井水内佐久更級小縣○縣廳を何處よりや△信濃國水内郡よりや△埴科郡高井郡佐久郡○其年第十七回よりや△信濃國の國を何郡ありや△十三郡埴科郡高井郡佐久郡○宮城縣を何と云ふ二國よりや△盤城陸前○宮城縣を何郡ありや△十三郡盤城の國を宇多之内亘理伊具刈田陸前の國を牡鹿桃

生遠田志田賀美黒川宮城名取柴田○縣廳を何處よりや△陸前國宮城郡仙臺よりや○福島縣を何と云ふ二國よりや△岩代盤城○福嶋縣を何郡ありや△六郡岩代の國を信夫安達安積の内岩瀬伊達盤城の國を白河○縣廳を何處よりや△岩代國信夫郡よりや○盤前縣を何と云ふ國よりや△盤城○盤前縣を何郡ありや△十郡宇多之内行方標葉

猶葉、田村、盤城、石川、菊多、白川、盤前、○縣廳在何處、
 處、
 ○若松縣も、何と云ふ、二國の内、
 代、越後、○若松縣も、何郡ありや、△六郡、岩代の國も、
 會津郡より、
 蒲原乃内、○縣廳も、何處よりや、△岩代の國
 會津郡より、
 ○水澤縣も、何と云ふ、二所乃國の内、
 陸前、陸中、○水澤縣も、何郡ありや、△八郡、陸
 前の國も、本吉、登米、栗原、玉造、氣仙、陸中の國も、
 膽澤、江刺、盤井、○縣廳も、何處よりや、△陸前
 の國、登米郡より、
 ○岩手縣も、何と云ふ、國よりや、△陸中、○岩
 手縣も、何郡ありや、△六郡、関伊、和賀、稗貫、紫波
 岩手、九戸、○縣廳も、何處よりや、△陸中の國
 岩手郡、盛岡より、

△陸前、陸中、○水澤縣も、何郡ありや、△八郡、陸
 前の國も、本吉、登米、栗原、玉造、氣仙、陸中の國も、
 膽澤、江刺、盤井、○縣廳も、何處よりや、△陸前
 の國、登米郡より、
 ○岩手縣も、何と云ふ、國よりや、△陸中、○岩
 手縣も、何郡ありや、△六郡、関伊、和賀、稗貫、紫波
 岩手、九戸、○縣廳も、何處よりや、△陸中の國
 岩手郡、盛岡より、

○青森縣を、何と云ふ、國に有也、△陸奥、○青森
 縣を、何郡あるや、△四郡、津輕、北郡、三戸、二戸、○
 縣廳を、何處に在るや、△陸奥乃國津輕郡青森
 下にあり、○
 ○山形縣を、何と云ふ、國に在るや、△羽前、○山
 形縣を、何郡あるや、△三郡、村山、置賜、の内、最上、
 ○縣廳を、何處に在るや、△羽前乃國村山郡に
 在るあり、○
 ○本縣郡に在る國に在るや、△山形縣

○置賜縣を、何と云ふ、國に在るや、△羽前、○置
 賜縣を、何郡あるや、△一郡、置賜の内、○縣廳を、
 何處に在るや、△羽前の國置賜郡米澤に有、
 ○酒田縣を、何と云ふ、二國に在るや、△羽前、羽
 後、○酒田縣を、何郡あるや、△二郡、羽前の國を、
 田川、羽後の國を、飽海、○縣廳を、何處に有や、△
 羽前の國田川郡に在り、
 ○秋田縣を、何と云ふ、二國に在るや、△羽後、陸

中、○秋田縣を、何郡ふるや、△八郡、陸中の國を、
鹿角、羽後、乃國を、平鹿、雄勝、仙北、由利、川邊、秋田、
山本、○縣廳を、何處よりふるや、△羽後の國、秋田
郡よりふるや、
○秋田第十八回
○敦賀縣を、何と云ふ、二國の内よりふるや、△若
狹、越前、○敦賀縣を、何郡ふるや、△六郡、越前の
國を、今立、南條、敦賀、足羽、吉田、丹生、坂井、大野、若

狹の國を、大飯、遠敷、三方、○縣廳を、何處よりふる
や、△越前乃國、敦賀郡よりふるや、

○石川縣を、何と云ふ、二國の内よりふるや、△加
賀、能登、○石川縣を、何郡ふるや、△八郡、加賀國

を、江沼、能美、加賀、石川、能登の國を、羽咋、鹿嶋、鳳
至、珠州、○縣廳を、何處よりふるや、△加賀の國、石

川郡、金澤よりふるや、
○新川縣を、何と云ふ國よりふるや、△越中、○新

川縣を何郡ありや、△四郡、礪波、射水、婦負、新川、
 ○縣廳を何處よりや、△越中の國、新川郡、
 津早より、
 ○相川縣を何と云ふ國よりや、△佐渡、○相
 川縣を何郡ありや、△三郡、加茂、雜太、羽茂、○縣
 廳を何處より有や、△佐渡の國、雜太郡よりあり、
 ○豐岡縣を何と云ふ三國のうちよりや、△

丹波、丹後、但馬、○豐岡縣を何郡ありや、△十六
 郡、丹波の國を多紀、氷上、天田、但馬の國を、朝来、
 養父、二方、七味、氣多、城崎、美含、出石、丹後の國を、
 与佐、加佐、中、熊野、竹野、○縣廳を何處よりありや、
 △但馬の國、城崎郡よりあり、
 ○鳥取縣を何と云ふ三國の内よりや、△因
 幡、伯耆、隱岐、○鳥取縣を何郡ありや、△十八郡、
 因幡の國を、岩井、法美、八東、八上、知頭、邑美、高草、

氣多伯耆の國を河村久米八橋、河入合見、日野、
 隱岐の國を海士知夫里、越智、周吉、○縣廳を何
 處に在るや、△因幡の國邑美郡に在り、△因
 ○鳥根縣を何と云ふ國に在るや、△出雲、○鳥
 根縣を何郡あるや、△十郡、意宇、妹義、鳥根、秋鹿、
 楯縫、出雲、神門、飯石、仁多大原、○縣廳を何處に
 在るや、△出雲の國、鳥根郡、松江に在り、△縣
 ○濱田縣を何と云ふ國に在るや、△石見、○濱

田縣を何郡あるや、△六郡、安濃、近摩、邑智、那賀、
 美濃、鹿邊、○縣廳を何處に在るや、△石見の國
 那賀郡に在り、△山に在り、
 田縣第二十回、
 ○鎊磨縣を何と云ふ國に在るや、△播磨、○鎊
 磨縣を何郡あるや、△十六郡、明石、美囊、加古、印
 南、加東、加西、多可、神東、神西、鎊東、鎊西、揖東、揖西、
 赤穂、佐用、完栗、○縣廳を何處に在るや、播磨の

國銚東郡姫路のり、
 ○北條縣を、何と云ふ、國のり、
 條縣を、何郡あるや、△十二郡東南條東北條西
 北條大庭真嶋又米北條久米南條勝南勝北英
 田吉野西西條○縣廳を、何處のり、
 の國西北條郡津山のり、

○岡山縣を、何と云ふ、國のり、
 山縣を、何郡あるや、△八郡御野津高赤坂盤梨

和氣邑久止道児島○縣廳を、何處のり、
 備前の國御野郡のり、

○小田縣を、何と云ふ、二國の内、
 中備後○小田縣を、何郡あるや、△十七郡備中
 の國を、上房阿賀哲多川上小田後月下道賀場
 郡宗淺口窪屋備後の國沼隈深津安那品沼芦
 田神石○縣廳を、何處のり、
 田郡笠岡のり、

○廣島縣を何と云ふ二國の内よりや△備
後安藝○廣嶋縣を何郡あるや△廿六郡安藝
の國を沼田佐伯豊田山縣高宮如茂安藝高田
備後の國御調世羅三豁三上奴可甲怒三次惠
蕪○縣廳を何處よりや△安藝の國沼田郡
①有あり、
○山口縣を何と云ふ二國の内よりや△長
門周防○山口縣を何郡あるや△十三郡長門

の國を阿武豊浦大津厚狹美禰見爲周防の國
を都濃玖珂吉敷佐波熊毛大鳴○縣廳を何處
よりや△周防の國吉敷郡よりや○
第二十一回
○和歌山縣を何と云ふ國よりや△紀伊○
和歌山縣を何郡あるや△七郡伊都那賀高草
海部有田日高牟婁之内○縣廳を何處より
や△紀伊の國高草郡よりや

○名東縣を何と云ふ三國のうらよらきや△
阿波淡路讃岐○名東縣を何郡ありや△二十
三郡阿波國臣平好義馬阿波板野藤植名西名
東勝浦那賀海部淡路の國に三原津名讃岐乃
國に三嶋大内寒洲三木山田香川阿野鶴足那
珂多度三野豊田小豆嶋塩飽島直島○縣廳を
何處にありや△阿波の國名東郡はあり所
○愛媛縣を何と云ふ國にありや△伊豫○愛

媛縣を何郡ありや△十四郡宇摩新居周布桑
村野間風早和氣温泉久米浮穴伊豫喜多宇和
越智○縣廳を何處に有や△温泉郡松山に有
○高知縣を何と云ふ國にありや△土佐○高
知縣を何郡ありや△七郡安藝香長長岡土佐
吾川高岡幡多○縣廳を何處にありや△土佐
乃國土佐郡にあり也

豊後の國大分郡府内
○佐賀縣を何と云ふ國にありや、△肥前、○佐賀縣を何郡ありや、△九郡、松浦の内、藤津、杵島、小城、佐賀、三根、養父、基肄、神奇、○縣廳を何處にありや、△肥前の國佐賀郡にありや、○白川縣を何と云ふ國にありや、△肥後、○白川縣を何郡ありや、△十五郡、玉名山、鹿、菊池、山本、阿蘇、池摩、飽田、合志、上益城、下益城、宇土、球摩、

蘆北、八代、天草、○縣廳を何處にありや、△肥後の國飽田郡二本樹にあり、○宮崎縣を何と云ふ國にありや、△日向、○宮崎縣を何郡ありや、△五郡、兒湯、臼杵、那珂、宮崎、諸縣、○縣廳を何處にありや、△日向國宮崎郡にありや、○鹿兒嶋縣を何と云ふ二國の内、一ありや、△薩摩、大隅、○鹿兒嶋縣を何郡ありや、△二十一

郡、薩摩の國に、鹿兒島、谿山、給黎、揖宿、頰娃、河邊、
何多、日置、薩摩、伊佐、出水、高城、甕島、大隅の國に
始羅、肝屬、噌啖、大隅、美新、象原、熊毛、馭謨、○縣聽
を、何處に、ゆゑ、や、△薩摩の國谿山郡に、ゆゑ、
善導子、所、職、と、云、△上、平、久、新、日、井、御、宮、和
○宮、所、職、子、阿、も、五、上、國、上、ゆゑ、ゆゑ、△日、井、○書
△國、職、田、所、二、本、樹、上、ゆゑ、ゆゑ、ゆゑ、ゆゑ、ゆゑ、
小學地理問答卷之五終

明治七年八月御免許
同 十二月發賣

著述人 備後

井出猪之助

大阪師範學校在勤

開版人

書肆

梶田喜藏

大阪東大組第十九區
心齋橋通本町

